

事業報告

平成29年度 子どもゆめ基金普及啓発事業 アセアン加盟国中学生招聘交流事業

平成29年11月20日(月)～11月28日(火)
【対象】アセアン加盟国の中学生と日本の中学生
【場所】国立信州高遠青少年自然の家他

～趣旨～

日本とアセアン加盟国青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成する。

～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立信州高遠青少年自然の家

～協力～

アスジャ・インターナショナル、アスコジャ

～交流協力～

伊那市立高遠中学校

～活動日程～

	月日	滞在場所	交通機関	時間	プログラム	宿泊場所
1	11月20日 (月曜日)	東京		午前 午後 夜	入国、羽田空港着(シンガポール・マレーシア・ラオス)	東横イン羽田空港
2	11月21日 (火曜日)	長野	列車 所バス	午前 午後 夜	都内見学(浅草、スカイツリー等) 都内見学 信州高遠青少年自然の家へ移動 入所、オリエンテーション	信州高遠青少年自然の家
3	11月22日 (水曜日)	長野	所バス	午前 午後 夜	中学校訪問①(全体歓迎交流会 授業体験) 中学校訪問②(給食・清掃等体験 部活動体験) 歓迎会	信州高遠青少年自然の家
4	11月23日 (木曜日)	長野	所バス	午前 午後 夜	駒ヶ岳ロープウェイ 千畳敷カール見学(雪山体験) 天竜川舟下り体験(地域の自然・文化体験) 意見交換会準備	信州高遠青少年自然の家
5	11月24日 (金曜日)	長野	所バス	午前 午後 夜	高遠中学生との交流「高遠町オリエンティング」 (地域の歴史・文化体験) 中学生意見交換会 研修のまとめ	信州高遠青少年自然の家
6	11月25日 (土曜日)	長野	所バス	午前 午後 夜	研修のまとめ 学習発表会準備 ホームステイ家族と対面 ホームステイ家族との交流	ホームステイ各家庭
7	11月26日 (日曜日)	長野	所バス	午前 午後 夜	ホームステイ家族との交流 ホームステイ家族との交流 学習発表会 歓送会	信州高遠青少年自然の家
8	11月27日 (月曜日)	東京	借り上げ バス	午前 午後 夜	退所 諏訪大社秋宮見学 東京へ出発 都内見学 マレーシアは空港へ移動・出国	東横イン羽田空港
9	11月28日 (火曜日)	東京		午前 午後 夜	シンガポールとラオスは空港へ移動・出国	各国へ

～参加者～

招聘者 シンガポール・マレーシア・ラオスの中学生各6名計18名及び引率者3名

日本人 高遠中学生交流実行委員18名

計39名

～活動トピックス～

高遠中学校での1日体験

アセアン中学生の全員が最も心に残った交流内容として挙げたのが「高遠中学校交流」であり、日本人の学校生活や文化を知る機会となった。全校歓迎交流会、授業体験（音楽、英語）、給食体験（配膳、食事、片付け）、清掃体験（黙掃）、剣道部の部活動体験に取り組んだ。学校全体が温かな雰囲気にもまれる中、互いに触れ合える場面を多く設定し、日本人中学生と友情を深め、自国の文化との違いを強く体感する機会となった。



歓迎会

アセアン中学生、日本人中学生、ホストファミリーの計86名が参加し、歓迎の挨拶やアセアン中学生による自己紹介が行われた。アセアン中学生は、けん玉や折り紙を日本人中学生やホストファミリーの子どもたちと一緒に楽しんだり、日本人中学生の出し物である空手の演舞を見たりして、日本の文化にたくさん触れることができ、笑顔があふれる会になった。



千畳敷カールでの雪山体験

中央アルプスならではのダイナミックな風景が広がる標高2,612mの千畳敷カールへ駒ヶ岳ロープウェイを使って行き、雪山体験をした。千畳敷カールには50cmほどの積雪があり、アセアン中学生のほとんどが初めて見る雪に感動していた。雪の上に寝転んだり雪合戦をしたり雪洞を掘ったりしながら雄大な自然を満喫することができた。



天竜川舟下り体験

とても良い天気の下、飯田市を流れる天竜川の舟下りでは、赤や黄色に色づいている渓谷を眺めながら水しぶきがかかるほどの激流を体験した。船頭さんの巧みな技や話術を楽しみながら舟下りをし、南信州の文化や自然に対する理解を深めることができた。

高遠町オリエンテーリング

アセアン中学生と日本人中学生6名ずつの班を編制し、高遠町の名所・旧跡をめぐりながらコミュニケーションの輪を広げることができた。日本人中学生は英語が十分に話せないデメリットを、片言の英語と身振り手振りのボディランゲージで補いつつ交流を深めようと努力する姿が見られた。言葉が通じなくても、まず「伝えようとする心」が大切であるということを互いに学ぶ機会となった。



中学生意見交換会

「自国や地域の魅力」をテーマに取り上げ、意見交換会を行った。まず、自己が居住する国や地域の魅力やそれらの魅力が抱えている課題について話し合いをした。次にそれらの課題を解決して、互いの魅力をさらに魅力あふれるものにするための方法についても4カ国で深く考え、意見を述べ合うことができた。



ホームステイ

1人ずつ各家庭にホームステイし、ホストファミリーとショッピング、野菜の収穫、着物の着付け、松本城見学、たこ焼き作り体験等を行い、日本人の日常生活を味わい日本文化や習慣に触れ、ホストファミリーとの親睦を深めた。



学習発表会

中学生意見交換会の内容を各国でそれぞれまとめたものを各国10分の時間を使って発表した。ホストファミリーの方々が大勢聞きに来てくれている中、日本・シンガポール・マレーシア・ラオスの順で各国の魅力とその魅力が抱えている課題、その解決方法だけでなく、自分たち中学生が今できることについての考えを述べる事ができた。

歓送会

アセアン中学生、ホストファミリー、日本人中学生で歓送会を行った。日本人参加者が中心となって企画・運営を行い、とても素晴らしい会になった。最後には別れ難く「帰りたくない。」と言う生徒がたくさんいて、信州高遠での5日間がお互いにとってとても大切な時間だったということを感じることができた。



～参加者の声～

- ・高遠中学校での交流がとても印象に残った。給食や清掃を体験して、シンガポールとの違いを知り、日本の学校生活について理解することができた。
- ・今回の交流でアセアン中学生に比べて、私たち日本人中学生の英語力が低いと感じた。通訳の人や他国の人の日本語に頼るだけでなく、私も英語で各国の人と話せる力を付けたいと強く思った。
- ・私は、将来外国人に対しての日本語教師になりたい。日本語教師は、英語や日本語の言語的知識も必要だが、日本の文化・歴史などの知識も必要だということを感じたので、今後、日本についての知識を蓄えていきたい。

～成果と課題～

- 高遠中学校の協力を得て、授業体験、給食・清掃体験、部活動交流等を温かい雰囲気の中で行うことができた。アセアン中学生は日本の中学校生活を体験的に学び、その理解を深めることができた。
- 本年度の中学生意見交換会では、4カ国が一緒にテーブルに座って意見交換を行ったことで、それぞれの国の状況を知る良い機会となった。全員が1人1人の話を聞こうと身を乗り出すほど、素晴らしい雰囲気での話し合いが行われた。
- 日本語の挨拶すら知らず日本についてもあまり知識がなかったアセアン中学生が、事業が終わる間際には、「こんにちは」「ありがとう」「おはよう」「おやすみなさい」を言えるようになっていた。また、日本に興味を持ち、「日本に行きたい！日本に留学したい！」と言ってくれるアセアン中学生がたくさんいたことは、日本に対する理解の増進を図るべく取り組んできた成果がでたと考える。
- 中学生交流実行委員会を4回設け、その内3回を合宿形式で行ったことで、中学生の企画力・リーダーシップ能力・外向き志向・コミュニケーション能力の向上に向けた活動が充分に行われた。その結果、歓迎会・歓送会・高遠町オリエンテーリング・中学生意見交換会において、日本人中学生が中心となったアセアン中学生との心の通った活動を行うことができた。
- 今回は意見交換会でまとめた内容を学習発表会で発表したけど、話し合ったことをまとめることに時間を費やしてしまい、交流する時間が減ってしまった。学習発表会は、今回来日して日本の文化や歴史に触れたり日本人中学生と一緒に活動したりして感じたことや学んだこと・日本人中学生がアセアン中学生と交流して感じたことや学んだことを話す場とした方がよいと考える。